



糖尿病のプロフェッショナルを目指す方々へ
スキルアップの可能性がここにあります

東京糖尿病療養指導士・東京糖尿病療養支援士 認定試験のご案内



毎年7月から申し込み開始

※詳しくはHPをご確認下さい。

東京糖尿病療養指導士認定機構
Tokyo Certification Board for Diabetes Educator

一般社団法人
東京糖尿病療養指導推進機構

はじめに

糖尿病患者と予備群2,000万人時代の今、その発症予防、重症化防止にはこれまでのような医療機関だけの対応では十分といえません。

医療施設で働く医療スタッフの方々に加え、治療中断患者や予備群の方々をフォローする健診機関や保健指導を行う専門職の方、薬局や介護施設で働く専門職の方々まで参加した幅広い支援体制が求められています。

東京糖尿病療養指導士と東京糖尿病療養支援士は、それぞれの分野の専門職の方が糖尿病の病態と治療等に関する専門知識を修得し、糖尿病とその予備群の方々をサポートするための認定資格です。



東京糖尿病療養指導士： 東京CDEとは

主として医療現場における糖尿病患者さんの指導にあたる専門職で、糖尿病の病態、治療等に関する高度な知識を修得し、当機構の受験者用講習会に参加、認定試験に合格した医療職等の有資格者。

内科以外の領域でも糖尿病患者さんへの対応が求められる現在、糖尿病に関する実践的な知識の習得の場として、また、チーム医療の中で重要な役割を果たす、キーマンの養成にご活用ください。

受験資格

受験時に、東京都に勤務あるいは居住し、下記に該当する資格を有するもの。

看護師、保健師、助産師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、診療放射線技師、准看護師、健康運動指導士 他

※その他の受験対象資格については、ホームページでご確認ください。

資格更新

3年間で1群(10単位)の研修を1回以上受講することに加え、1群、2群の研修合わせて合計30単位を取得すること。

研修の種類

- ・1群：スキルアップ研修会(1日、10単位)
※毎年1回東京CDE、東京CDSで開催
<主な内容(予定)>
 - ・糖尿病治療に関する最新情報、主なトピックのアップデート
 - ・現場で役に立つ実践的な講演(フットケアなど)
 - ・多職種間でのグループディスカッション

東京糖尿病療養支援士： 東京CDSとは

主として健康増進や福祉、介護などの幅広い職域において糖尿病予備群や一般生活者を対象に、糖尿病の知識の啓発と予防にあたる専門職で、糖尿病の病態、治療等に関する一定レベルの知識を修得し、当機構の受験者用講習会に参加、認定試験に合格した専門職有資格者。

健康増進や介護の場でも、糖尿病やその予備群の存在が目立つ時代です。糖尿病についての専門知識を有するスタッフの存在が、よりよいケアや思わぬ事故やトラブルの防止に役立ちます。職場に一人、チームに一人、頼りになる人材育成にご活用ください。

受験資格

受験時に、東京都に勤務あるいは居住し、下記に該当する資格を有するもの。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネジャー)、歯科衛生士、栄養士、臨床心理士、医薬品登録販売者、養護教諭、自治体職員(保健、健康増進担当)、医療事務、医薬情報担当者(MR) 他

※その他の受験対象資格については、ホームページでご確認ください。

資格更新

3年間で1群(10単位)の研修を1回以上受講することに加え、1群、2群の研修合わせて合計20単位を取得すること。

- ・2群：その他の研修会(1～3単位※個別に設定)
 - 後援団体の開催する研修会
 - 都内近郊で開催される糖尿病関連研修会※ともに東京糖尿病療養指導士認定機構の更新研修委員会が認定したもの(詳しくはHPにてご確認ください)

認定資格取得者のメリット

- ① 糖尿病の病態と治療支援に関する体系的な知識が修得できる
- ② 糖尿病の病態と治療支援に関する知識を修得していることが、専門資格として認定される
- ③ 職域において、糖尿病の治療支援に関する専門資格取得者として認められる
- ④ 糖尿病治療における支援者としての信頼が得られ、治療支援やサポートに自信が持てる
- ⑤ 職域に認定資格者がいることで、糖尿病や予備群への対応が向上できる

研修制度

多彩な研修の多くがオンラインにより受講いただけます。

受験者用講習会はオンラインで受講

インターネット環境さえあればいつでも、どこでも、何度でも、ご自身のペースで受講いただけます。勤務シフトなどのスケジュールを調整いただく必要はなく、PCやスマートフォンなどにより自由な時間に受講いただけます。



認定試験の日時や会場はご自身でお選びいただけます

認定試験はCBTシステムにより実施いたします。テストセンターと呼ばれる試験会場で認定試験をご受験いただけます。受験者ご自身で日時や会場の予約・変更・キャンセルが簡単にできます。



スキルアップ研修会で糖尿病の知識をアップデート

糖尿病に関する最新情報、現場で役に立つ実践的な講演や多職種間でのグループディスカッションなどのプログラムにより糖尿病の知識をアップデート！

eラーニングでも開催いたしますので、ご自身のご都合に合わせてご参加をいただけます。



東京CDE・CDS Excellent Awards

東京CDE・CDS認定者の現場におけるチャレンジ“糖尿病患者さんへの支援”の取り組みを称え、応援する表彰制度です。糖尿病患者さんのケア、サポートで活躍している方々の功績をたたえ、更に多くの現場に事例を共有することで今後の支援・サポートの質、モチベーションの向上に繋げることを目的としています。受賞者には賞金、記念品、表彰状を贈呈いたします。



認定特典

認定取得により下記のような特典が得られます。 ※詳しくはHPにてご確認ください。

① 認定証(賞状)の発行

② 認定バッチの発行



③ 認定グッズ

(認定プレート、クリアファイル等)



④ スキルアップ研修会への参加

⑤ 東京地域認定取得者向け研修会・イベントの紹介
(都内近郊の研修会を重点的にご紹介・2群)



⑥ JADEC eラーニングツールの提供

⑦ 認定取得者限定イベントへの参加

⑧ 認定取得者のWeb公表(任意)

⑨ 認定取得者の所属施設のWeb公表(任意)

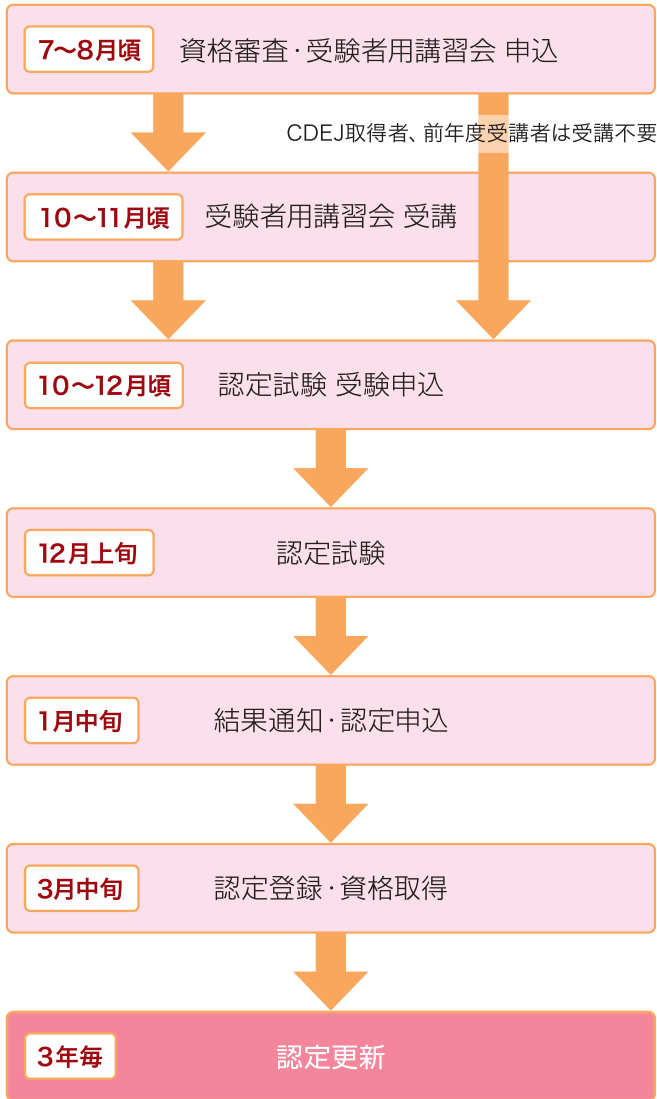
⑩ 上記に加えた糖尿病の最新情報ならびに東京地域情報の提供(Web、メール)

<その他>

・月刊 糖尿病ライフ さかえの購読
(東京CDE・CDSの会 特典)

・認定取得者用グッズの購入

認定資格取得までの流れ



※スケジュールは変更になる可能性があります。

受験者の声

▶ 仕事や子育てをしながらの受験でしたので自己学習の時間を作ることが大変でしたが、eラーニングは楽しく受講することができました。今後はこの資格を実務に活かして患者さんに寄り添った指導をしていきたいと思えます。(東京CDE・40代・女性・病院勤務・管理栄養士)

▶ 受験者用講習会がeラーニングだったことが私には勉強しやすかったです。繰り返し学習できるし、通勤時間を有効に使い学習することができました。認定試験も自分の予定に合わせて選択できました。仕事をしながら資格を取ることは難しいかもと考えていましたが、このスタイルだとチャレンジしやすいと思えます。(東京CDE・30代・女性・クリニック勤務・看護師)

▶ 出勤前の1時間とか、休日の空いている時間で勉強できたり、何より、eラーニング期間中に何度か進捗確認のメールもいただき、忙しい日常の中の忘れがちな学習を励ましてくれたことが学習継続の励みとなりました。この資格を生かし、今後の高齢者保健事業に役立てていきたいと思えます。(東京CDE・50代・女性・行政勤務・管理栄養士)

▶ 講習会の中では食事療法、運動療法、薬物療法と糖尿病について教科書だけでは学べないことが学べました。講師の先生方もその分野で実際に糖尿病患者さんを診られている方々で、机上では学べないことが聞けるので具体的なイメージが湧きました。今後は歯科衛生士として糖尿病の治療をされてる方に寄り添った関わり方をしていきたいです。(東京CDS・20代・女性・歯科医院勤務・歯科衛生士)

認定試験に関する最新情報は、下記のホームページ・メールマガジンをご覧ください。

糖尿病に詳しい医療職、専門職を認定する
東京糖尿病療養指導士認定機構
<https://cde.tokyo>



QRコード

メールマガジンのご案内

認定資格の受験情報を希望する方へメールマガジンを配信しています。ホームページよりご登録ください。

認定試験の
受験情報
をご希望の方へ

メールにてご案内致します

後援団体

JADEC (公社)日本糖尿病協会
東京都糖尿病協会
日本糖尿病学会 関東甲信越支部
(一社)東京臨床糖尿病医会

(一社)東京内科医会
(公社)東京都看護協会
(公社)東京都薬剤師会
(公社)東京都臨床検査技師会

(公社)東京都理学療法士協会
(公社)東京都栄養士会
(公社)東京都介護福祉士会
(公社)東京社会福祉士会

(一社)東京都作業療法士会
(特非)日本健康運動指導士会
(公社)東京都歯科衛生士会

※後援団体所属の皆様は受験料が割引となります。詳しくはHPにてご確認ください。
2026年1月現在

東京糖尿病療養指導士認定機構／一般社団法人東京糖尿病療養指導推進機構

事務局 (株)創新社内 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11

Tel.03-5521-2881 Fax.03-5521-2883 e-Mail: office@cde.tokyo

【受験者の方へ】2026年度受験者用講習会及び認定試験のご案内

2026年度の受験者用講習会及び認定試験につきましてご案内申し上げます。
病院、クリニック、介護施設、薬局など、あらゆる現場で糖尿病に関する高度な知識を持つスタッフのニーズが高まっています。ご自身やスタッフの皆様のスキルアップとして、質の高い医療・介護サービス提供のための教育機会として、本講習会および認定試験をぜひご活用ください。

2026年度受験者用講習会の受講をご希望の方は認定機構ホームページより資格審査のお申し込みをお願いいたします。**2026年8月31日が締め切りとなります。**

2026年度 受験者用講習会のご案内

認定試験の受験には、原則として本講習会の受講が必要です。
※CDEJ取得者、前年度受講者は免除されます。

開催方式: eラーニング(受講期間中は繰り返し学習可能です)

申込期間: 2026年7月1日～8月31日

受講期間: 2026年10月1日～11月26日

受講費用: 資格審査料 3,000円(税込)
受講料 10,000円(税込)

※受講料にテキスト代は含まれておりません

申込方法: 東京糖尿病療養指導士認定機構ホームページの
資格審査お申込みフォームよりお申込みください



こちらのQRコードより資格審査のお申込みや受験者用講習会の詳細をご覧ください。

2026年度 認定試験のご案内

全国のテストセンターで受験可能なCBT方式を採用しています。

受験期間: 2026年11月27日～12月11日

受験料: 一般受験者 8,500円(税込)、後援団体会員 6,500円(税込)

会場: ご自身で選択した全国のテストセンター

お問い合わせ

東京糖尿病療養指導士認定機構 事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-11 第7東洋海事ビル 8階 株式会社創新社内
TEL: 03-5521-2881 FAX: 03-5521-2883 e-Mail: office@cde.tokyo

【施設責任者の方へ】スタッフのスキルアップにご活用ください



病院、クリニックなど

あらゆる診療科、すべての医療機関にとって、増加する糖尿病患者さんの存在は無視できないのが現状です。医療スタッフの糖尿病に関する再教育、継続的な教育のための機会としてご活用ください。



健診機関、保健指導機関、健保組合など

糖尿病の重症化予防と糖尿病腎症の予防は、保健指導の分野でも最優先の事項です。最新の糖尿病の病態と療養について、改めて学び、スキルアップする機会としてご活用ください。



介護施設、老健施設など

高齢者の中には、糖尿病の患者さんやその予備群の方が多く含まれています。より良い介護や、思わぬ事故やトラブルを防ぐためにも、糖尿病に詳しいスタッフが求められています。



薬局、ドラッグストアなど

健康サポート薬局や検体測定室の開設など、薬局、ドラッグストアなどにおける薬剤師や登録販売士にとって、糖尿病に関する知識はこれまで以上に重要なものとなっています。



行政、健康増進施設など

健康啓発を進める行政や健康増進施設における担当者にとって、より効果的に、事故を起こさず指導を行うために、糖尿病についての理解は欠かせないものです。